

国体・東北総体選手選考会実施にあたっての新型コロナウイルス感染防止対策

1 選考会の実施にあたって

選考会の実施にあたっては、参加者全員の「安全・命」を守る事を最優先する。

- (1) 練習場入口に手指消毒剤を設置する。
- (2) うがい、手洗い、手指消毒を徹底する。
- (3) 3密 密集、密閉、密接 にならないようにする。
- (4) 練習前に必ず健康チェックを行う。
- (5) 熱中症対策を行う。

2 選考会実施前の対策（健康観察等）

- (1) 実施前に自宅で検温を行い、平熱より少しでも高い場合や咳などの症状がある者は、参加を見合わせる。
- (2) 会場に入る前には必ず検温をする。
- (3) 「連絡先等確認用紙」を提出させ、感染者が発生した場合の対策に備える。

3 マスクの着用について

- (1) スポーツ庁の通達にもあるように競技中は、マスクを外してもよい。マスクをしたいという選手にはマスクの着用を可とするが、選手の様子を注意深く観察する。(熱中症予防)
- (2) 審判は原則としてマスク又はフェイスシールドを着用する。ただし、自らの身体へのリスクがあると判断する場合はマスクを外してもよい。なお、マスクを外す際は、不必要な会話や発声を行わず、両手を伸ばしても触れない距離を確保する。
- (3) 送迎の保護者については、マスクの着用を義務づけるほか、会場への入場を禁止とする。

【スポーツ庁】

学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について

https://www.mext.go.jp/sports/content/20200522_spt_sseisaku01_000007433_1.pdf

4 選考会前の対策

- (1) 事前に自宅等で空手道着に着替えるなど、更衣室等は使用しない。
- (2) 会場内は可能な限り少人数を心掛け、間隔を開け不要な会話は慎む。
- (3) 選考会に使う安全具 メンホー、拳サポーター、フェイスシールドなどの共用は認めない。
- (4) 手洗い、手指消毒を行ったことを確認する。

5 選考会中の対策

(1) 換気と休憩

- ①短い間隔で休憩を取り、換気と給水を行う。(30分に1度、最低5分間)
- ②密閉空間にならないよう十分に換気を行う。
- ③休憩時の飲み物の回し飲みやタオルの共有はさせない。

(2) 会場・用具の消毒等

- ①フローアーマットの消毒、モップ掛けを行う。
- ②ゴミは各自持参したゴミ袋を使用し、各自が持ち帰る。

(3) その他

- ①会場での食事は自粛する。
- ②各自治体の施設が定めるガイドラインを遵守する。
- ③連絡網を整備し、練習内容や伝達事項が関係者に周知徹底できるようにする。
- ④熱中症予防に努める。

6 選考会中に感染が疑われる者が発生した場合の対応

- (1) 救護の医師又は看護師と相談の上、青森市保健所内に設置されている下記センターに連絡をとり、指示を仰ぐ。

※帰国者・接触者相談センター (電話番号 017-765-5280)

- (2) 救急車の要請が難しい場合は、保護者が搬送する。保護者と連絡が取れず急を要する場合は、強化委員会で担当者を定め、保健所から指示を受けた医療機関等へ搬送する。
- (3) 選考会の継続の可否については、保健所の指示を仰ぐ。

7 選考会後の対応について

- (1) 選考会の終了後2週間は健康観察を継続して行い、その間に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、居住地の保健所及び強化委員会事務局に速やかに濃厚接触者の有無や当日の行動歴等について報告する。
- (2) 強化委員会は速やかに県空手道連盟事務局に報告するほか、早急に情報を収集し、保健所と情報共有を図るなど2次感染防止に向け緊急対応を行う。

本防止対策については、現時点の得られている知見等に基づき作成しており、今後の状況により逐次見直しを図る。(全日本空手道連盟 感染拡大防止ガイドライン練習再開用 引用)

(問い合わせ・報告先)

青森県空手道連盟 強化委員長 岡 一仁

090-4880-4008

同 強化委員会 事務局 伊藤 光

090-4880-4008